

**医療機関、研究機関その他の放射性同位元素 (RI) 等取扱施設等における
消防活動上の留意事項に関する検討会（第 2 回） 議事概要**

1 日時 平成 27 年 12 月 18 日(金)10:00～12:00

2 場所 経済産業省別館 114 会議室

3 出席者（敬称略・順不同）

鹿志村 平	立石 信行	鶴田 俊	富永 隆子
中村 篤志	中村 力	中丸 浩昭	平本 隆司
松井 真	武藤 重男	山口 芳裕	吉井 功知

4 主な検討内容

(1) 全般

○RI 施設等の火災時においては、消火剤として水を使用する場合における RI による汚染拡大のリスクを考慮しつつ、延焼による汚染拡大のリスクを抑制する必要がある。

○本検討会で作成する資料を活用した事前対策をしっかりと行いながら、災害時において事業者から消防機関への情報提供体制を確保することが重要である。

○海外では RI 輸送中の事故例が多いので、留意すべきである。

(2) 個々の RI 等に関する個票

○密封 RI の「容器の構造」欄は、表記を JIS 又は ISO で統一してはどうか。

○RI 等を格納している機器や容器等の大きさや重量などが分かるようにしてほしい。

○それぞれの RI を検出することができる測定機器を記載してはどうか。

○消防活動上の留意事項の記載にあたっては、なぜそのように留意しなければならないのか、その理由が分かるように記載すべきである。

○装備機器と発生装置について、放射線が出る位置と方向を追加してはどうか。

○極めて強い線源を使用する機器等に特有の留意事項についても、明記するべきである。

○検索しやすくする、写真を活用する、重要な項目をカラーで強調表示する等、現場の消防隊員の見やすさ・使いやすさを意識して作成してほしい。